

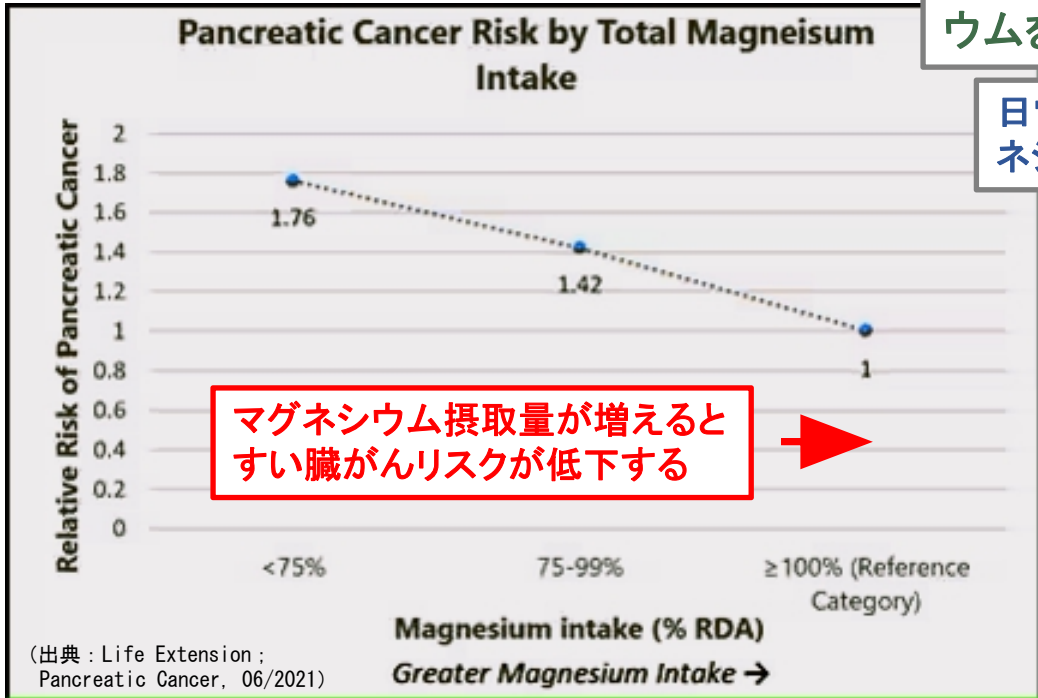
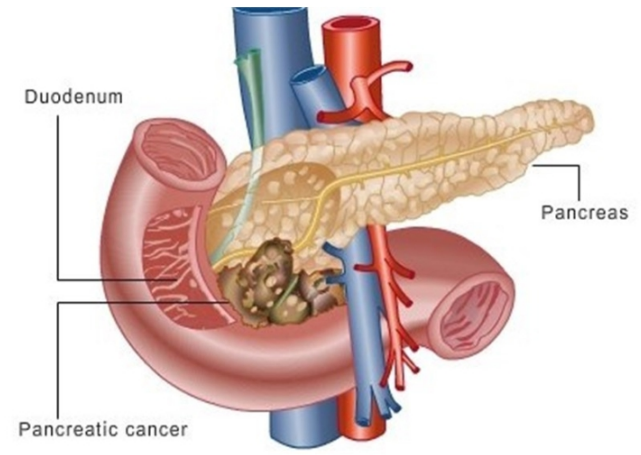
マグネシウム摂取量が増え
ると乳がんリスクが低下する

マグネシウム(Mg)が不足すると、体内におけるATPを用いたエネルギー代謝、莫大な種類の代謝酵素による物質代謝が進まなくなる。そのため、特に分泌を主な作業としている細胞にとっては、作りかけの物質が溜まったり、欲しい物質を作れなかったりなど、致命的な障害をもたらすことになる。それによって生じた悪条件、ならびに悪環境で生き延びるために、細胞はがん化する。左に挙げた、乳がんや膵臓がんは一例であって、全てのがんに共通することである。

現代の市場に出回っている食材を工夫しても、食餌のみから充分量のマグネシウムを得ることは不可能だと考えてよい。

日常生活における基本の一つとして、マグネシウムを別途、補給する必要がある。

Magnesium Intake May Be Beneficial in Preventing Pancreatic Cancer
December, 21, 2015 - 10:00 | Science news



マグネシウム摂取量が増え
るとすい臓がんリスクが低下する



<作成: stnv基礎医学研究室>